



かわら版あんず

第 4 6 号

発行責任者 福地 季子
〒317-0056 日立市白銀町 2-17-1
TEL. 0294-21-4150

2011 年度 フレンドリーあんず年忘れ会

毎年恒例のフレンドリーあんず 2011 年度年忘れ会が 130 人以上の参加者のもと 12 月 11 日 会瀬交流センターで盛大に開催された。今年度の会は、フレンドリーあんず改称 10 周年記念大会であったこと、更にその記念事業として制定した Tシャツと会歌がお披露目されたことで参加者全員にとって生涯忘れ難い大会となった。

先ず、ボランティアグループさくら主催の外国人による日本語意見発表会で最優秀賞を獲得した廖波瀾さんによる開会宣言、次で福地会長挨拶、そして日立とアジア文化交流を進める会森会長及び鎌田フレンドリーあんず初代会長の祝辞を頂戴したあと、日本語教室出席優良者 17 名が、反町日本語教室責任者より表彰された。更に今大会の目玉の一つである Tシャツの紹介とそのデザイナー松浦享子さんのデザイン秘話をお聞きしたあと、お待ちかね飯田会員の音頭による乾杯となった。

しばしの食事タイムで沢山の料理と飲み物でお腹を満たした後、早速余興がスタートした。

先ず、さくら会 18 名の美女による華やかな日本民謡の踊り、イランの歌、中国の歌、ペルーの踊り等と続き、恒例のプレゼント交換の後、お待ちかねフレンドリーあんずの歌が、金曜教室の皆さんにより披露された。“ハローハロー こんにちは、いろいろな国の人たちが…素敵な仲間…日立の街から…”と、正に本日の年忘れ会を象徴する素晴らしい歌が参加者全員で合唱され“平和な世界を目指そうよ”と大きな歌声で誓いあった。

最後に高衛民さんの日本語教室教育成果を示す流暢な閉会宣言と全員の拍手で今年度の年忘れ会の幕を閉じた。

(大久保 和朗)



震災に負けずさらに充実 国際文化祭り 11月12日 日立シビックセンター

国際屋台村メニューも量も増やしました。アジアの料理（タンドリーチキン、レッドカレー、リッチフラン、かぼちゃとココナツミルクのデザート）に加えバナナケーキとコーヒーも入りすべて完売。メンバーが日本語意見発表会に参加のため調理場手薄。開始時間遅くして！（今野担当）

民族文化紹介—フィリピン 写真展は 生活や文化が解り為になりました。

クイズ 島の数7000以上とは思っていませんでした。

物産販売 ドライフルーツや食材が人気で良く売れました。

ホットチョコレートの試飲もジャムとクラッカーで人気でした。（黒沢記担当）

生け花展示 ベトナムの花束展示。 レチ・トゥイさん・・・写真下記

飯田亜希子さん、ユン正美さん、弓田裕子さんの花を会場7か所に展示。（田所担当）

生け花体験 プラスチックのたためる花瓶は震災の時節にマッチして好評。

お花の故郷展示 チュリップはオランダでなくて中央アジアトルコが原産。

ハウセンカはインドから中国南部 etc. （福地担当）

日本語意見発表会に出場 廖波瀾さん さくら賞（最高賞）の快挙



日本語スピーチコンテストに参加して

2月18日に茨城県国際交流協会が主催した第21回外国人日本語スピーチコンテストに参加しました。いろんなことを感じました。

予定時刻より30分早い10時頃に県民文化センターへ着きました。会場に入って、受付の方が10人ぐらいいました。みんなが暖かく挨拶してくれました。会場内に発表者のプロフィールや母国の紹介がテーブルの上に綺麗に並んでいました。受付者の中で、金髪の女性二人が特に印象的でした。一人はフランスの出身で、オレリー・ノエルという人で、私たちを集会室へ連れていってくれ、上手な日本語でこれからの流れや注意事項などを教えてくれました。もう一人はカナダの出身で、エリーゼ・ハタードという方でした。エリーゼ・ハタードさんはスピーチコンテストの司会者を務めました。エリーゼ・ハタードさんの来日の期間は私と同じぐらいなのに、日本語がすごく上手で、彼女と話しているうちに自分が本当に恥ずかしくなりました。なぜ欧米の方が日本語をこんなに上手になれるのだろうか？もっとびっくりしたのは、エリーゼ・ハタードさんが中国語で話してくれたことです。その瞬間、私は本当に感動しました。エリーゼ・ハタードさんはすばらしい人です。いつも言語に関して自信を持っていた私はちょっと落ち込みました。これから日本語をもっと力を入れて頑張るぞと決意しました。

午後1時にスピーチが始まりました。会場内はほぼ満席でした。私は1番目で、司会者の紹介でステージに立ちました。最初はすごく緊張していましたが、発表しているうちにだんだん落ち着きました。途中でちょっと言葉を抜かしてしまいましたが、たいした部分ではありませんでした。5分間は聴く人にとっては短いかもかもしれませんが、発表者の自分は長かったと感じました。

他の発表者のスピーチを聞いて、その中の何人かの発表は本当にすごかったです。彼らは日本の生活や文化に慣れ、話題も面白かったです。一番共感したのは、外国から来た我々が日本国民の親切さに感動していたこと。特に、3月11日東日本大震災時の感動の話が多かったです。大きな災難に対しみんな一丸となり、お互いに助け合い、さすが日本だと感じました。

茨城県国際交流協会が我々外国人のために年一回このようなスピーチコンテストを開催してくださり、本当にありがたいです。すごく有意義なイベントだと思います。

廖 波 瀾



茨城アジア研修講演会『祖国を愛する私の思い』

今年は震災のため、「支える会」はラオスに支援に行くことも日本に研修に呼ぶことも出来ませんでした。活動のパートナーの SVA が遠野市を拠点に震災の避難所や仮設住宅に展開していた支援活動に参加、チャリティコンサートでの益金35万円を送り、岩手・山田町での移動図書館ボランティアなど震災支援をしてきました。

今回はこれからの国際ボランティアのあり方の研修のための講演会でした。

チャンタボンさんはお茶の水大学大学院修了後、日本の大学で教鞭をとり、1982年ラオスの子供に絵本を送る活動の「ラオスの子ども」代表また1998年職業訓練センターを設立し 民族の文化の伝承と女性の自立を図っています。チャンタボンさんは、「30年前教育を普及することの難しさを味わっている。ラオスの子供は読み、書き、計算の基礎教育が出来ていない。黒板の文字を先生について言うことが主で文法も指導されず作文も出来ない。絵本を読むことで早く覚えるので絵本を与えて行きたい。女性は家族を養うことに執念を燃やし自給自足で、生産を販売に結びつける計画や約束を守るという教育がされていない。織物と染色の技術を生かして商品を作ったり、畑で作物を作る等で自信をつけ モラルを持った人間になってもらいたい。それを仲間でやっていきたい。それが私の願い。」と語りました。ラオスの教育制度の裏側からの実際の話が聞けたことは大変貴重でした。慎重に熱意を持って支援してきたドンカムサーン幼稚園の子供たちの表情が見違えるほど生き生きしたことを考えれば私達の力が及んでいく可能性を感じた講演会でした。(福地季子記)

私の故郷(ブラジル)

国名：ブラジル連邦共和国
REPUBLICA FEDERATIVA DO BRASIL
国土面積：854.7万km²
人口：193,794,000人
首都：ブラジリア
通貨：リアル



地球の反対側にある私の故郷ブラジル。現在の国民総生産 (GDP) は世界第6位で、国土面積は世界で5番目に大きく、日本の約22.5倍です。南アメリカ大陸では最も大きな国であり、チリとエクアドルを除き、10カ国の国境と接しています。北部ではコロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナム、フランス領ギアナ、西部ではパラグアイ、ボリビア、ペルー、南部ではウルグアイ、アルゼンチンと接しています。東西(4319km)と南北の距離はほぼ同じです。東側におよそ7400kmの海岸線が広がり、美しいビーチに恵まれています。赤道は北部を通過し、日本とは逆に北が暑いイメージです。

ブラジルの人口は約1億9300万人で、南アメリカ大陸で唯一のポルトガル語が公用語の国です。

旧宗主国のポルトガル人と先住民と奴隷、ヨーロッパ系、アジア系とアラブ系移民などの世界中の人々が集まって形成された国です。したがって、様々な人種、習慣、信仰や料理などを思い浮かべることができるでしょう。色々な宗教がありますが、一番多いのはカトリックです。ブラジルの各都市には、中心部に必ず大きなカトリック教会が建てられています。教会の周りに広場があり、木陰に座って休んだり、新聞を読んだりする人や大道芸を演じている人々や急いで仕事に向かっている人など、色々な光景が見られます。

このように、多民族国家であり、習慣や宗教などの違いがあるにもかかわらず、ブラジル人は互いに仲良く暮らしています。思った事を率直に(ずけずけ)と言う人々ですが、とても陽気で、気さくで、心温かい人達です。一般家庭では子供の誕生日を大切にし、友達や親戚が集まったパーティーで大きなケーキを食べて祝います。大家族ではほとんど毎週誕生日パーティー開かれています。ブラジルの代表的な料理はフェイジョアダ(黒豆と煮込んだ豚肉など)とシュラスコ(牛肉の塊を串に刺して焼く)です。

面積が広いので農業が盛ん、資源も豊富で、自然の豊かな観光地がいくつもあります。また、2014年にはサッカーの世界カップ、2016年にオリンピックが開催されます。サンバ、サッカー、ビーチとカーニバルばかりではなく、有名なアマゾン(北部)やパンタナール(中西部)、その他にもレンソイス国立公園(北東部)やイグアスの滝(南部)などの観光地があります。

私の大好きなイグアスの滝は、フォス・ド・イグアスの町から28キロ離れた場所にあります。ブラジルとアルゼンチンの国境にある世界最大の滝で、大小あわせて275もの滝が幅4キロにわたって広がり、最大落差は80メートルです。滝の近くにはピンクの建物(ホテル・ダス・タス・カタラタス)があり、近くにあるイグアスの滝の展望台からは対岸のアルゼンチン側に大小無数の滝が見え、展望台から続く遊歩道を行くと、あちこちの滝に虹が見えます。毎年2月から4月頃、何百種類もの色の美しい蝶が乱舞し、大自然の偉大さに感動します。

水上 晴江 ローズメイレ



ブラジルを代表するスタミナ料理
フェイジョアダ:FEIJOADA



肉の塊岩塩だけをふりかけ串に刺して
焼いたシュラスコ: CHURRASCO.



美しい踊りに見せかける
ように独特の伴奏をつけた
格闘技カポエイラ: CAPOEIRA

中国と日本

上海で5年間ぐらい、日系会社に勤めていました。日本語を学んで、学校では日本の歴史も勉強しました。ヒアリングを上達するために、日本のドラマ、アニメをいっぱい見ました。上海で日本の友達もできました。自分自身は普通の中国人より、日本と日本人に対する誤解と偏見は少ないと思います。

日本に来て、5年目になりますが、私の強い偏見のせいで、日本の女性と付合うことを避けていました。なぜ？日本人でも、中国人でも、私にとって女性と付合うことはにがてで、うまく付合えるかどうか心配で避けていました。

日本人の背が低いというイメージは、いつのまにか、私の頭の中に深く残っていました。日本に来て「ええ！」日本の女性の身長はけっこうあるんだ！ものすごく意外でした。

成田空港から日立まで来る途中で「ええ！」日本はこんな感じなの？先進国のイメージが強くて、日本のあちこちが東京、上海、ニューヨークみたいなにぎやかなイメージでした。そんなイメージは日本のドラマとか、日本を紹介する番組から影響をされていたのかも知れません。

私は、日本に来て、日本の風景、日本人の容姿など自分の目で見て初めて、中国に居たときに思い描いていたイメージが偏見と誤解に満ちていたことに気づきました。

やはり、どんな情報よりも自分自身で感じたことの方が新鮮で大切なことだと感じました。

日本人も、テレビやインターネット、新聞などの一方的なイメージで中国や中国人を見ないでほしいです。できれば、旅行など、実際に中国へ行って、あるいは日本で中国人に接する機会がある場合など、自分の目で見たり、話をしたりして、お互いが実感できる交流ができれば少しはお互いの偏見と誤解が少なくなるのではないのでしょうか。

益子 莉

フレンドリーあんずの会歌

フレンドリーあんず

一、ハロー、ハロー、こんにちは、
 いろんな国の人たちが
 互いの文化を学びあい
 夢ある世界をつくろうよ
 素敵な仲間、フレンドリー
 あんず、日立の街から

二、ハロー、ハロー、こんにちは
 うれしい時も さびしい時も
 共に語って分かち合い
 明るい世界をつくろうよ
 素敵な仲間、フレンドリー
 あんず、日立の街から

三、ハロー、ハロー、こんにちは！
 大人も子供も輪になって
 楽しく愉快なフェスティバル
 仲よし世界をつくろうよ
 素敵な仲間、フレンドリー
 あんず、日立の街から

平和な世界を目指そうよ

作詞 フレンドリーあんず
 作詞委員会

あしあと



- ・役員会 10/4, 11/29, 2/7 (女性センター他)
- ・日本語教室 毎週火曜日、金曜日実施 ・国際交流サロン 毎週金曜日 当番
- ・食と会話を楽しむ会 リンゴ狩り他4回 ・生け花クラブ フラワーアレンジメント他8回
- ・「あんずの歌」作詞委員会 9/14, 10/4, 10/17 (教育プラザ他)
- ・男女共同参画をすすめる集い 10/1 (多賀市民プラザ)
- ・日立市社会福祉協議会「市民活動の集い」 10/12 (福祉プラザ)
- ・世界の料理 出前講座 10/23 ペルー (仲町交流センター) 韓国 (会瀬交流センター)
- ・ひたち国際文化まつり 11/12 (シビックセンター)
- ・フレンドリーあんず改称10周年記念年忘れ会 12/11 (会瀬交流センター)
- ・茨城大学地域団体交流懇談会 12/16 (茨城大学工学部)
- ・あんず日本語教室教師懇談会 12/17 (アーシュタブル)
- ・茨城アジア新年会 1/8 (水戸市国際交流センター)
- ・フレンドシップキルト展 2/1～ 2/5 (シビックセンター)
- ・茨城アジア講演会 2/4 (茨城県女性プラザ)
- ・日立国際交流協議会 外国人のための防災マップ作り継続

お知らせと今後の予定

- ・さくらまつり見学会 4月 8日 日立平和通り
- ・塙山ゴジャッペ市 4月29日 塙山交流センター
- ・総会 5月12日 女性センター
- ・夏祭り 7月 8日予定 詳細未定

編集後記：今回は、外国の方に多くを書いていただきました。故郷の紹介、経験、意見、それぞれ国際交流ができる内容でとてもよかったです。これからも、紙面を通して国際交流が少しでも深められればと考えています。